

■ 第1回千歳市第3期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定市民会議
議事概要

会議名	第1回千歳市第3期都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定市民会議		
日 時	令和3年2月26日(金) 18:00~20:00	場 所	千歳市総合福祉センター 402号室
出席者	委員：川名委員、平沖委員、鈴木委員、入口委員、三ツ野委員、中山委員、鈴木委員、三崎委員、須貝委員、小野委員（中澤氏代理出席）、平池委員、瓜生委員、泉澤委員、伊藤委員、齋藤委員 事務局：企画部長、企画部次長、企画部まちづくり推進課長ほか7名		

会議概要	<p>1. 市挨拶、委員任命、座長選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民会議での互選により、座長に公立千歳科学技術大学の川名委員、副座長に千歳商工会議所の鈴木委員を選出 ・本会議の議事概要の作成及び市ホームページでの公表について承認 <p>2. オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、事前配布したオリエンテーション資料に基づきポイントを説明 <p>3. 今後議論すべきテーマの頭出し（グループ討議）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10項目の「まちの発展と住みよさが続くための検討テーマ（会議資料P47～49）」より、事務局がA～Dグループごとに専門性に応じた5項目を提示し、グループで重点的に話し合う項目の決定を40分程度討議した。 <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回、第3回はグループごとに個別開催することとし、各グループの開催日時の調整を行った。 <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>Aグループ</td> <td>3月 9日</td> <td>18時～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月 30日</td> <td>18時～</td> </tr> <tr> <td>Bグループ</td> <td>3月 11日</td> <td>17時～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月 22日</td> <td>16時～</td> </tr> <tr> <td>Cグループ</td> <td>3月 22日</td> <td>18時～</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3月 30日</td> <td>14時～</td> </tr> <tr> <td>Dグループ</td> <td colspan="2">今回欠席者が多かったので、事務局で調整の上決定する。</td> </tr> </table>	Aグループ	3月 9日	18時～		3月 30日	18時～	Bグループ	3月 11日	17時～		3月 22日	16時～	Cグループ	3月 22日	18時～		3月 30日	14時～	Dグループ	今回欠席者が多かったので、事務局で調整の上決定する。	
Aグループ	3月 9日	18時～																				
	3月 30日	18時～																				
Bグループ	3月 11日	17時～																				
	3月 22日	16時～																				
Cグループ	3月 22日	18時～																				
	3月 30日	14時～																				
Dグループ	今回欠席者が多かったので、事務局で調整の上決定する。																					

グループ討議結果の概要

<Aグループ>

- ・「②市街地の資源（千歳川、道の駅等）をもっと活かすには？」と「③空港や支笏湖、農村との連携をもっと進めるには？」は『魅力発信』というかたちで一つのテーマとして捉えたい。
- ・その上で、各々のテーマが関係しあっていることを踏まえ、4つのテーマを関連づけながら議論を進めることとした。
- ・そのほか、例えば災害に関しては住んでいる人の自助・共助の話もあるが、胆振東部地震での海外客の対応といった課題もあり、住む人、外からくる人両方の視点が重要という意見もあった。

<Bグループ>

- ・一番関心が高かったテーマが、「①中心市街地の賑わいを高めるためには？」と千歳の良さを生かすという視点で「⑤進出企業（働く場所）をもっと増やすには？」についてだった。その次に「⑥便利な買い物環境をつくるには？」が続いている。
- ・中心市街地については若い人が外に出て行っていることや、空き地、空き店舗の対策について意見があった。進出企業については千歳の資源を生かしていく意見が多かった。また、大学からの若い優秀な人材を生かしていくという意見もあった。

<Cグループ>

- ・テーマを3つに絞った。
 - 「②市街地の資源（千歳川、道の駅等）をもっと活かすには？」
 - 「③空港や支笏湖、農村との連携をもっと進めるには？」
 - 「⑨災害に備えたまちづくりを進めるには？」
- ・②については新千歳空港の人の出入りは多いが、市内の滞留は少ないのではないかと。道の駅も含め滞留できるまちづくり、また、大学との連携も重要という意見があった。
- ・③については、物流、二次交通（空港に降り立ってからの移動）MaaSを生かした観光などについて意見があった。キウス周堤墓群に公共交通のアクセスがないという指摘もあった。
- ・⑨については道路、JR線や水道などインフラの耐震化、避難場所の整備などについて意見があった。

<Dグループ>

- ・テーマを3つに絞った。
 - 「⑥便利な買い物環境をつくるには？」
 - 「⑧コミュニティや居住密度を維持するには？」
 - 「⑩子育てしやすいまちづくりを進めるには？」
- ・⑥については中心市街地・駅周辺に空き店舗が多く、買い物環境を整備することで、より満足度の高いまちづくりにつなげたい。
- ・⑧について、まちを好きになることや、まちに住みたいと思えるためには、コミュニティの形成が重要である。
- ・⑩については、大学を通じて若い人が千歳に住むきっかけになるようなまちづくりが重要である。

以上